

認定看護師シター



中国労災病院 認定看護師室 2017年11月発行 Vol. 46
担当：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 佐竹 尚子

今回は、せん妄の3つの因子と予防のための環境づくりについてお知らせします。せん妄はなんらかの身体疾患あるいは全身状態の変化を伴って生じる一過性の精神症状です。急に発症するので、点滴類などの自己抜去や転倒・転落等の対応に戸惑ったという経験はありませんか。せん妄を予測し、環境を整えることで発症を予防することができます。

せん妄の3つの因子

複数の因子が重なり影響し合い、脳が興奮状態や活動低下状態になることでせん妄が発症します。

分類	解説
準備因子	入院前より、患者自身が持っているせん妄を発症しやすい脳の脆弱性
直接因子	直接せん妄の発症につながる疾患や生理学的異常、薬物など
誘発因子	環境の変化、極度の不安、疼痛など、睡眠・覚醒リズム障害を通してせん妄を誘発する因子



赤字は、せん妄発症のハイリスク因子を示します。

せん妄を予防する環境づくり

◎現状を理解しやすい環境をつくる

- ・カレンダーや時計を用意して見やすい位置におく
- ・日常会話のなかで、時間や場所、今後の予定を伝える

◎夜間の過剰な刺激は避け、快適な環境をつくる

- ・夜間の巡回や処置時の照明に気を付ける
- ・室温や湿度、臭気に気を配り、換気を適切に行う

◎良質な睡眠を確保する

- ・起床後は日光を十分に浴びることができるように調整する
- ・スタッフの声や靴の音、ドアの開閉音、モニターのアラーム音に配慮する

◎安心できる環境をつくる

- ・身の回りの物や小物、ペットの写真など馴染みの物を用意してもらう
- ・訪室回数を多くし、安心感をもってもらう

◎身体機能を整える

- ・身体抑制や尿道カテーテル、持続点滴が本当に必要かアセスメントし、できるだけ早期に除去する
- ・早期に離床を促す

